

くら寿司カップ2023 第47回大阪府小学生サッカー選手権大会(U-12) 中央大会要項

1.大会名	くら寿司カップ2023 第47回大阪府小学生サッカー選手権大会(U-12)
2.主催	一般社団法人 大阪府サッカー協会
3.主管	一般社団法人 大阪府サッカー協会 第4種委員会
4.後援	スポーツニッポン新聞社
5.協賛	くら寿司株式会社
6.参加費	5000円×エントリーチーム数(上限3チームエントリーまでとする)
7.中央大会参加費	参加費とは別に1チームにつき5,000円を中央大会初日に徴収する。
8.協力	
9.中央大会日程	中央大会日程7/15(土)32→16 7/16(日)16→4 7/17(祝)4→1 前記日程を基本としているが、雨天・落雷等天候不可抗力により別日程にて試合を組む場合もある。
10.抽選	1枠より32枠に入る
11.パス日	7月以降はパスできない。
12.会場	花博記念公園鶴見緑地球技場
13.競技方法	〈予選〉大阪府下全域でオープン抽選によるトーナメント方式。〈中央大会〉32チームによるトーナメント方式。
14.競技時間	20分-5分-20分(同点の場合は3人制のPK戦を実施ただし、準決勝以上は5分の延長を実施)
15.参加資格	6年生以下の選手。複数エントリーチームの選手入替は不可とする。
16.コートサイズ	68m×50mを推奨する。ゴールの大きさは5m×2.15m(少年用サッカーゴール)とする。
17.競技規則	(公財)日本サッカー協会「8人制サッカー競技規則」最新版に準じ、これ以外の部分は、(公財)日本サッカー協会「サッカー競技規則」に準ずる。
18.競技人数	8人
19.エントリー	エントリーサイトの入力と大会参加費の振り込みを締切までに行うこと。
20.AEDの確認	各会場本部役員及び各会場提供責任者は、AEDの設置場所の確認に努める。
21.上位大会	大阪府大会上位4チームは2023年9月2日～3日(J塚)「KSFA第47回U-12サッカー選手権大会」への出場権と当該大会への参加義務を有するものとする。
22.試合の成立	試合開始時に6名以上とし、一方のチームが6人に満たない場合は試合を開始しない。ただし、試合中の負傷等による競技者が6人未満にならない限り試合は続行する。
23.棄権時のスコア	不戦敗とし、0-3とする。
24.交代選手	試合毎の登録は交代選手を含め16名までとし、試合に出場していない競技者は交代要員となる。一度退いた選手は再び交代要員となる。
25.警告	大会期間中、警告の累積が2回になった選手・チーム役員は次の1試合に参加できない。予選での警告は中央大会に持ち越さない。
26.退場	退場を命ぜられた選手・指導者は次の1試合に参加できない。JFA司法機関組織運営規則・懲罰規定に準じて懲罰を決定する。また、試合中に負傷退場した場合、主審は別の選手を補充して8人にしてから試合再開しなければならない。(ただし、登録選手が8人の場合を除く)予選での退場は中央大会に持ち越さないが、悪質な反則による退場に関してはその限りではない。(1発レッド)
27.メンバーチェック	自チームの前の試合・後半開始5分後までに本部役員にて【選手証】【メンバー表】【申し送り】【ユニホーム】のチェックを行う。【選手証】とは電子登録証のカラーコピーであり、携帯電話などの画面での確認は不可とする。選手証、メンバー表と当日の選手の並びは全て同じになるように揃えておくこと。申し送り用事項へのサインは第4審が行う。ユニホームに広告表示がある場合はJFAからの「回答書」を持参しておくこと。
28.テクニカルエリア	テクニカルエリア内にはチーム役員3名までと登録選手のうち16名のみとする。(合計19名以内とする) テクニカルエリアには危険予防措置のために、試合中に荷物運搬用台車等の持ち込み・放置は出来ない。試合中は作戦ボード等はタッチライン側足元に置かず、座席後方に置く。 テクニカルエリアでは試合開始前・試合中・ハーフタイム中・試合後・PK方式中、全てに於いて動画・静止画共に撮影を認めない。 ※サッカー競技規則2022/23 第1条 (P.35) テクニカルエリアとはスタジアムで行われる試合において用いられるもので、エリア内にはチーム役員、交代要員および交代して退いた競技者の座席が設置される。テクニカルエリアに入ることでできる人数は競技会規定によって定められる。 テクニカルエリアに入ることでできる者は『責任ある態度で行動しなければならない』・テクニカルエリアからは、『その都度ただ1人の役員のみが戦術的指示を伝えることができる』 テクニカルエリア内で座席より立ち上がれるのは1人の役員のみとする。他の役員は全て着席する。
29.チーム役員	違反行為が発生した場合は妥当な競技規則を適用する。 ※サッカー競技規則2022/23 第12条 ファウルと不正行為(P106～P108) チーム役員に反則がありその反則を行った者を特定できない場合、テクニカルエリア内にいる上位のコーチが罰則を受ける。 〈注意〉 通常、次の反則については注意となるが、繰り返して、または露骨に行った場合は、警告または退場とすべきである。 ・リスペクトある。または対立的ではない態度で、競技のフィールドに入る。・副審や第4の審判員の指示または要求を無視するなど、審判員に協力しない。・決定に対して軽度の不満を示す(言葉や行動により)。・他の反則を行うことなく、時折テクニカルエリアから出る。 〈警告〉 警告となる反則は、次のとおりである(ただし、これに限らない)・明らかに、または繰り返して自分のチームのテクニカルエリアから出る。・自分のチームのプレーの再開を遅らせる。・言葉や行動により意義を示す。例えば、審判員に対するリスペクトを明らかに欠いた行動をとる(皮肉な拍手などで)。・容認できない行為を繰り返す(注意となる反則を繰り返すことを含む)・試合にとってリスペクトにかける行為を行う。 〈退場〉 退場となる反則は、次のとおりである(ただし、これに限らない) ・意図的にテクニカルエリアを出て、次のことを行う(P.108 7行目)。・プレー、相手競技者または審判員を妨害する。(P.108 12行目)・同じ試合の中で2つ目の警告を受ける。
30.撮影機器の使用	中央大会は1階人工芝敷地内、1階敷地西側のスタンド下コンクリート階段地点、1階出入口地点での撮影は認めない。(鶴見緑地球技場は2階スタンド内のみ撮影可能とする)
31.審判	中央大会(ベスト32)からは3人制、主審(3級以上)副審(4級以上)とする。 主審・副審及び第4審は、試合開始前にお互いが打ち合わせ等の準備に努める。事前に割り当てられた審判を不履行の場合、JFA司法機関組織運営規則、懲罰規定に準じてその懲罰を決定する。 副審の4級審判が出せなかったなどの審判不履行の懲罰の決定の最たるは不履行をしたチームの不戦敗となる。 (JFA懲罰規定 P.2 第4条[懲罰の種類] 2項 加盟チームに対する懲罰の種類(9)試合の没収「得点を0対3として敗戦扱いとする」) 新規及び昇級等で審判証が手元にない場合は、審判委員会の押印のある合格(証)通知と顔写真付きの本人確認できるものを提示する義務を負う。予備審を割り当てられた審判員は、「8人制競技規則」にある補助審判の役割を参考とする。また、協会派遣の場合、及びアクティブ登録を行い指導を受けた審判員の本審を認める。 審判服は全て正規のものを着用し、アンダーシャツ・アンダーパンツは同色のみ認める。 審判証の提示及び所定の位置にワッペンを貼付を義務とする。(カラー電子登録証)携帯電話などの画面での確認を認める。
32.ユニフォーム	FP・GK(上着・パンツ・ソックス)はそれぞれ別色の正副の2着を用意する。(ユニフォーム規定参照) ユニホームとはFPが番号以外は全く同じもの、GKが番号以外は全く同じものとする。(ただし、メーカーロゴの変更や移動のみの場合はその限りではない) 自チームの試合前の後半開始5分までに対戦相手同士によるユニホーム色彩等の確認を行う。両チーム同色系や区別が付きにくい場合は①当該チーム間で話し合い決定する ②当該チーム間で調整が難しい場合は大会本部にて事前調整を行い、両チーム立会いのもとに決定する。大会本部はユニフォーム各2組のうちから、判別しやすい組合せを決定し、主審が確認を行う。ベンチ選手、指導者はユニホームと同色のウェアは着用できない(ビブスや別色のウェアで対応すること)。GK及びFPのビブス着用での試合出場は認めない。 GKがFPとして出場する場合、または逆の場合において、他選手と重複しない固有番号であれば、正副の番号は一致しなくても出場を可とする。
33.アンダーシャツ	上着の袖の下から見える場合袖の主たる色と同色であることとする。
34.アンダーパンツ	パンツ下から見える場合パンツの主たる色または裾と同色であること、またパンツの主たる色と裾の色が別色の場合チームでどちらかを選び統一していることとする。
35.背番号・胸番号	シャツの前面及び背面には、選手番号を必ず表示しなければならない。選手番号は、服地と明確に区別し得る色彩(服地が縞柄等であって明確な識別が困難なときには、台地を付ける)かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。
36.キックオフ	キックオフから直接相手側のゴールに入った場合は、相手側のゴールキックから再開する。
37.競技者の交代手続	(FPの場合) 交代によって退く選手は、交代ゾーンからフィールド外に出て、その後、入る選手は、交代ゾーンからフィールドに入る。 インプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず交代でき、主審及び第4審の承認は必要としない。ただし、GKを含め、第4審の用具チェックは受ける。 (GKの場合) ボールがアウトオブプレーになった時、主審に通知し、主審の許可を得て交代を行う。 交代して退くゴールキーパーは、境界線の最も近い地点から競技のフィールドの外に出る。代わりに入るゴールキーパーは交代ゾーンからフィールドに入る。 ※FPもGKも負傷等により退く選手は、交代ゾーンからフィールド外に出る必要はない。
38.大会期間中の移籍	移籍元のチームにおいて本大会に出場した競技者に関しては移籍先のチームにおいてその出場を認めない。 (サッカー選手の登録と移籍等に関する規則 P.3 第2章 移籍 第1節 総則 第21条[公式試合への出場資格]2.選手の公式試合への出場資格を競技会の大会要項により制限できる)
39.負傷者	負傷者については各チームで処置等を施すこととする。主催者及び主管者は一切の責任を負わない。
40.JFA司法機関組織運営規則 懲罰規定による懲罰の決定	レギュレーション違反があった場合、予期せぬ問題が発生した場合、会場責任者の指示に従わない場合、駐車制限、喫煙、ゴミの不始末、施設破損等の問題があった場合、これらの場合、JFA司法機関組織運営規則、懲罰規定に準じてその懲罰を決定する。当該チームは決定を遵守しなければならない。 なお、当該チームの保護者の行為も含まれるので、その啓発及び周知徹底の義務を有する。
41.延長戦	準決勝、決勝、3位決定戦の4試合に限り5分ハーフの延長を実施する。それでも決着がつかない場合はPK戦とする。
42.PK方式	3人制で行う。両チームの得点が同じ場合は、同数のキックで一方のチームが他方より多く得点するまで、順序を変えずに交互にキックは続けるものとする。 PKになりFP選手がGKを行う場合はFPユニホームで良い。この時FP選手はGKユニホームに着替えなくても良い。
43.複数エントリー	複数エントリーの場合、1st2nd各チーム内に大会に参加出来る最高学年が4人以上と、その他の学年は最大6名以内までとする。メンバー表の提出は4/13(木)までとする。 提出期限を過ぎたメンバー表は認められないため、遅れた場合は1stのみのエントリーとなり2ndチームは棄権負け扱いとなる。
44.落雷、荒天等による再試合	落雷、荒天等により試合続行が困難な場合は試合を不成立とし、再試合とする。その判断は会場責任者が行う試合中に中断した場合は残り時間を再試合として実施する。 再試合時は中断した場所がインプレーであればセンターサークルからドロップボール、アウトオブプレーの場合はその場所から再開する再試合時の審判、出場選手は中断時と同一が望ましい。中断期間中に別の試合で出場停止処分を受けた場合でも、再試合には出場できる
45.肖像権	一般社団法人大阪府サッカー協会に認められた提携写真事業者によって撮影された写真が「参加者向け写真販売サービス(ウェブサイトを通じた通信販売を含む)」を行うことがある。一般社団法人大阪府サッカー協会又はこれらに認められた報道機関等によって撮影された映像が、中継・録画放映及びインターネットによって配信されることがある。また、DVD等に編集され、販売・配付されることがある。これらの肖像権に関する事項は大会参加申込として大会エントリーをした時点で、上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。
46.応援	太鼓、鳴り物を使用する応援、対戦相手チームを威嚇する又は過度な横断幕掲出による応援、大会本部役員が不適切と判断した応援行為は認めない。
47.その他	大会参加チームは必ずスポーツ傷害保険に加入していることとする。本レギュレーションは適宜改訂、改善をしていくものとする。 本レギュレーションに記載の無い事項について大会参加チームは大会主管(大阪府サッカー協会第4種委員会)の決定事項に例え事後の決定であっても従うものとする。